

第二期

まち・ひと・しごと創生総合戦略

実績報告書（令和 7 年度）

目次

基本目標 1	まちの魅力を向上させ、新たなひとの流れをつくる	1
(1)	戦略的な情報発信	1
(2)	創業を希望している市民への支援	3
(3)	産業の振興と雇用の促進	4
(4)	時代のニーズに対応する農業の創造	7
(5)	個性豊かな観光施策の推進	10
(6)	利便性の高い公共交通網の形成	14
(7)	にぎわいと活力ある魅力的なみち・まちづくり	15
基本目標 2	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	16
(1)	結婚・妊娠・出産・子育てへの支援	17
(2)	子育てしやすいまちづくり	21
(3)	子どもの知力・体力の向上	25
(4)	教育環境の整備	27
基本目標 3	誰もが安心して暮らし続けられる地域をつくる	28
(1)	交通利便性や買い物環境の向上に向けたまちづくり	29
(2)	安心して暮らせるまちづくり	30
(3)	健康でいきいきと暮らせるまちづくり	32
参考資料		39

【留意事項】

＜指標について＞

K P I：Key Performance Indicator の略称。客観的な重要業績評価指標のことです。

C S F：Critical Success Factor の略称。主要要因と訳され、目標達成に大きく影響する事業のことです。

＜指標の評価について＞

○ 現況値（平成 30 年度実績）と当該年度の実績を比較しています。

○ 評価については、以下の4段階で実施しています。

- ① ◎：目標値達成
- ② ○：現況値超目標値未満
- ③ △：現況値以下
- ④ －：数値が判明していない

＜再掲事業について＞

○ 総合戦略内で【再掲】と記載されている事業については、省略しています。

基本目標 1 まちの魅力を向上させ、新たなひとの流れをつくる

数値目標

指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
市外からの平日の滞在人口	16,660 人	—	17,493 人	—
市外からの休日の滞在人口	16,951 人	—	17,799 人	—

※ 14 時時点の平均値

目標達成への課題

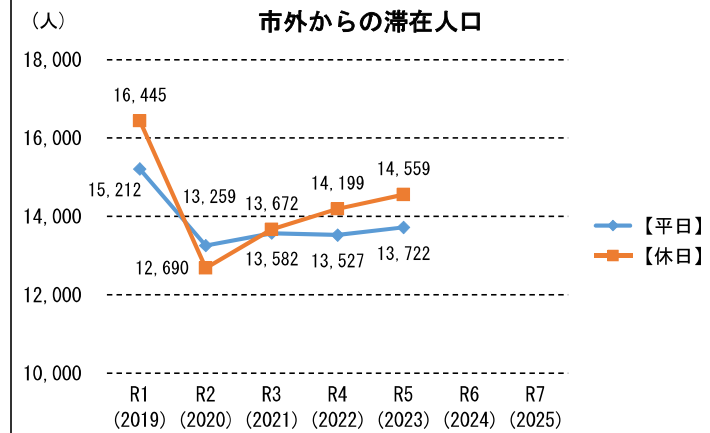
(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)

令和5年度までRESAS（地域経済分析システム）で、データ収集を行っていたが、令和7年3月のシステム改修により、同様のデータが収集できなくなったため、数値は「—」としている。

低迷していた市外からの滞在人口は緩やかに持ち直していくことが見込まれるものの、滞在人口増加のためには、市の魅力の発信等、市外に対し市をPRする施策が必要である。

課題を踏まえた令和8年度以降の主な取組等

広報・プロモーション課を中心とした積極的な市の魅力の発信を行うとともに、デジタルを活用した地域活性化等の実施に努める。



※ 2023 年の数値は 1 月から 6 月までの平均値

具体的施策

(1) 戦略的な情報発信

<重要業績評価指標 (KPI)>

KPI-CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
KPI	市ホームページアクセス数 (トップページ)	276,230 件/年	231,766 件/年	500,000 件/年	△

施策の概要	「担当課だけでなく全庁で取り組む広報」、「情報を分かりやすく発信する広報」、「必要とする人が見つけやすい広報」という広報戦略の3つの柱に基づき、市の魅力を効果的に周知する。
令和7年度の 主な取組内容・実績	- 市からの情報発信を迅速に行うため、各関係部署と連携した情報発信の実施 - 市報作成に当たり、多くの市民の目に留まるよう、企画記事等を作成し、令和7年12月1日号市報が東京都広報コンクールで奨励賞を受賞 - 広報職員が実施する担当者向け研修のほか、外部講師を招き管理職向け広報研修を実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	LINEやSNSの活用により、トップページを経由せずに該当ページへ直接アクセスすることが容易となった。それに伴い、トップページのアクセス数が減少していると考えられる。 SNSの投稿やホームページの作成において、参照条文をそのまま掲載するなど、市民にとって見づらい情報発信が未だ散見される。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	第二次広報戦略を改訂するとともに、シティプロモーション方針を策定する。 各課に対し、伝わる情報発信とは何か、について周知を継続して行う。

<主な事業とCSF>

①	事業名：市ホームページ情報の充実	事業課：広報・プロモーション課
---	------------------	-----------------

施策の概要	重要な情報発信媒体である市ホームページについて、より一層アクセシビリティに配慮するとともに、トップページから利用者が求める情報にたどり着きやすくなるよう情報を整理し、トップページのカラーセルバナー等で発信する情報を充実させる。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 各課からの要望等に基づき、各種事業やイベントに関するカラーセルバナーを作成
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	引き続き、分かりやすい情報発信を心掛け、カラーセルバナーの更新を行っていく。 カラーセルバナーへの掲載方法を知らない職員が多い。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	庁内向けにカラーセルバナーの活用について周知を行い、利用の促進を図る。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
CSF	カラーセルバナーに掲載するページ数	18 ページ	19 ページ	30 ページ	○

②	事業名：SNS等による広報手段の充実	事業課：広報・プロモーション課
---	--------------------	-----------------

施策の概要	市政情報の効果的な周知を図るため、引き続きソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を活用し、定期発信の情報ではなく、リアルタイムの情報発信に努める。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ SNSを活用した情報発信 ○ イベント開催時や市報発行時等、なるべく多くの投稿を実施 ○ T i k T o k アカウントの開設 ○ フェイスブックアカウントの廃止
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	#MM教え隊：名称が分かりづらいためあまり浸透せず、また事業開始から一定の期間が経過したことから、令和6年度以降は0件となっている。 市公式X（旧T w i t t e r）リポスト数：文字だけの投稿が多く見られるため、写真を活用した投稿を増やす必要がある。 フェイスブックフォロワー（いいね）数：全国的に利用者数が減っている状況を鑑み、令和7年度末で廃止した。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	各課が実施するSNSの投稿において、一部分かりにくい表現が残されている状態が見られるため、継続して各課に対し伝わる情報発信について周知していく。 若者世代を中心に、T i k T o kを活用した情報発信を推進する。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
CSF	「#MM教え隊」市以外からのSNS発信数	409 回/年	0 件/年	600 回/年	△
CSF	市公式ツイッター「リツイート」数	未実施	841 件/年	1,200 件/年	○
CSF	市公式フェイスブック「いいね！」件数	817 件/年	1,154 件/年	1,200 件/年	○

(2) 創業を希望している市民への支援

<重要業績評価指標（KPI）>

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
K P I	創業支援制度を利用した創業者数	2 人/年	14 人/年	21 人/年	○

施策の概要	創業支援等事業計画に基づく特定創業支援等事業（創業塾、創業セミナー、創業交流会及び個別相談）を実施し、市内での創業を希望する者の支援を行う。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ むらやま創業塾「ゆめ」：参加者 5 人（全 5 回） ○ 個別相談：参加者延べ 28 人 ○ 創業補助金：利用者 5 人 ○ 武蔵村山市創業セミナー：参加者 5 人（全 1 回） ○ ローカルスタートアップ支援事業としてビジネスプランコンテストを実施し、創業機運を醸成（エントリー 22 人）
目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など）	創業機運の醸成を図り、創業者を更に増やす必要がある。 また、創業補助金の対象者以外の創業の実態については、ヒアリングにより把握する必要があるが、創業者数に対して創業補助金の利用実績が少ないため、実際の創業状況が把握しきれていない可能性がある。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	ローカルスタートアップ支援事業のビジネスプランコンテストなどを通して、創業機運の醸成を図り、創業者を増やすとともに、創業支援実施時に創業補助金等の制度周知により、創業補助金の利用者を増やし、創業状況の把握を進める。

<主な事業とCSF>

①	事業名：ウィメンズチャレンジプロジェクト	事業課：協働推進課
---	----------------------	-----------

施策の概要	働きたい女性の自分らしい働き方へのチャレンジについて、総合的に支援を行うことを目的として、セミナー等を開催することにより、女性がそれぞれの希望に応じた働き方を実現し、女性活躍推進の機運を高めるとともに、地域に眠る人材を掘り起こし、幅広い分野への女性の参画を促進して地域の活性化を図る。 また、地域で活躍する女性のネットワークを構築し、企業、地域及び社会への女性の参画を促進する。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 女性リーダー育成事業・ロールモデル座談会：参加者 14 人（3 回開催） ・ 女性リーダー育成事業とロールモデル座談会を連携した講座として開催 ○ 女性起業家育成講座：参加者 15 人（6 回開催） ○ 女性のためのチャレンジ相談会：参加者 9 人（5 回開催）
目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など）	起業や再就職、キャリアアップ等を目指す女性を対象とした支援事業として実施したロールモデル座談会や女性起業家育成講座については、女性活躍の推進において必要性のあるものと考えているため、今後も、適宜内容を変化させながら、機会創出を図っていく。 令和 5 年度まで実施していた「ゆーあいフェスタ」のような大人数の参加が見込める事業の実施を予定していないが、今後も積極的かつ継続的な情報発信を行い、参加率の維持・向上に努めていく必要がある。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	引き続き、座談会や講座、相談会等による起業支援、再就職支援等を行うとともに、地域社会で女性のキャリア支援等を行うため、ゆーあいフェスタに代わるイベント企画の検討及びメンターバンクの創設に取り組んでいく。 令和 8 年度は、女性防災リーダー育成講座を開催予定。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	セミナー参加者数	705 人/年	38 人/年	750 人/年	△

②	事業名：空き店舗活性化事業への支援	事業課：産業観光課			
施策の概要	商店会活動への支援及び地域経済の活性化のため、空き店舗等を活用した事業の推進を図る。				
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 商店会に対して、空き店舗を活用した東京都の補助制度を案内 ○ 武蔵村山市空き店舗活用補助金を創設し、空き店舗の登録が2件あった。 活用希望が4件あり、うち、1件が契約となった。				
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	現行の制度では、商店街に所在する空き店舗のみが対象であるため、対象地域以外の空き店舗を活用することができない。				
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	令和8年度以降は制度を拡充し、商店街地域以外の市内全域を対象に含めて事業を実施する。				

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	空き店舗を活用した事業数	0 事業	1 事業	2 事業	○

(3) 産業の振興と雇用の促進

<重要業績評価指標（KPI）>

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
K P I	企業誘致制度を活用した企業誘致による新規就業者数	0 人	0 人	10 人	△

施策の概要	地域産業の振興及び市民の雇用機会の拡大などを図るため、企業誘致条例に基づき、市内の工業地域に事業所を新設又は増設した企業等に対し、奨励金を交付する。				
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 市制度融資の連携機関へチラシを送付 ○ 東京都企業立地相談センターホームページに奨励金制度を掲載 ○ 東京都多摩地域投資誘致プラットフォーム「インビテーション t o TAMA」に参画 ・ 市町村ページを作成し、企業誘致条例のチラシを掲載				
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	企業誘致に関する相談はあったが、条件に合うような紹介可能な土地が不足している。				
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	企業誘致制度の周知及び土地の空き状況を確認できる体制について検討する。 また、企業誘致の対象業種及び対象地域の拡大も含め検討を行う。				

<主な事業とCSF>

①	事業名：産業振興ビジョンの策定	事業課：産業観光課
---	-----------------	-----------

施策の概要	市内全体の産業振興や近隣自治体と連携した振興策、市内事業者の市外への流出抑止策等の検討を行った上で、それらを計画的に進めるため、産業振興ビジョンを策定する。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 産業振興ビジョンに掲載している各種施策を推進
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	産業振興ビジョンに掲げる将来像「市民と事業者が絆をつむぐ にぎわいのあるまち むさしむらやま」の実現に向け、各種施策を実施していく。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	各種施策の実施状況を評価・検証する。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
CSF	産業振興ビジョンの策定	未策定	推進	策定	◎

②	事業名：企業誘致制度の拡充（新青梅街道沿道）	事業課：産業観光課、沿線まちづくり課
---	------------------------	--------------------

施策の概要	拡幅整備が進行中の新青梅街道沿道への企業誘致制度の拡充について、対象地域の都市計画を踏まえながら検討を進める。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 対象業種及び対象地域の拡大を、多摩都市モノレール延伸計画の進捗に応じて検討 ○ N o . 4 駅周辺まちづくり協議会を設置し、協議結果を取りまとめた提言書を令和8年3月に作成
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	企業誘致制度の対象業種及び対象地域拡大については、駅周辺まちづくり協議会において意見を聴取した上で、用途地域変更や地区計画策定を踏まえて検討する必要がある。また企業が進出するための用地の確保についても、目途をつけていく必要がある。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	今年度中に、N o . 2、5 駅周辺まちづくり協議会の開催を完了させる予定である。その後、各協議会の提言書を取りまとめ、用途地域変更や地区計画策定を検討していく中で、企業誘致制度の対象業種及び対象地域の拡大を検討する予定である。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
CSF	企業誘致制度の対象拡大	検討	検討	検討終了	△

③	事業名：工業地域における道路整備の推進	事業課：産業観光課、都市計画課、道路下水道課
---	---------------------	------------------------

施策の概要	地域経済の活性化と市民の雇用機会の拡大を図るため、伊奈平地区の工業地域の基盤整備を進め、企業誘致の促進を図る。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 立地適正化計画を検討する中で、工業地域の土地利用の状況や、人口密度、工場の立地状況などの現況を把握 ○ 市制度融資の連携機関へ企業誘致に関するチラシを送付 ○ 東京都企業立地相談センターホームページに企業誘致条例の奨励金制度を掲載 ○ 東京都多摩地域投資誘致プラットフォーム「インビテーション to TAMA」に参画 ・ 市町村ページを作成し、企業誘致条例のチラシを掲載
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	本地区は住工が混在した複合地区であるため、地区内の道路整備に当たっては、武蔵村山市まちづくり条例に基づく地区まちづくり計画や地区計画制度を活用した手法が有効的であるが、いずれも市民や事業者等と協働で整備内容等について検討を行う必要がある。 伊奈平地区の基盤整備の促進を目標としているが、既存道路の拡幅や整備を行うには多くの時間、予算及びマンパワーを要する。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	工業地域の現況を踏まえ、今後、地区計画や地区まちづくり協議会によるまちづくり計画等の策定、大型車の通行を考慮した道路基盤整備などについて検討を行う。 また、令和8年度以降も引き続き、工業地域の企業誘致を図る。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	事業の推進	未実施	検討	検討	◎

④	事業名：地域ブランド認証事業	事業課：産業観光課
---	----------------	-----------

施策の概要	本市の地域ブランドとして、市内の魅力ある商品等を認証し、広く他の地域に発信するとともに、地域ブランドに誰もがわかりやすいコンセプトを持たせ、より明確なイメージ作りを推進し、本市の活性化と魅力の向上を図る。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 事業及び認証商品について、市ホームページや市報等により広報活動を実施 ○ 申請意向のある事業者と調整し、令和7年9月に新たに1件を認証 ○ 収納課と連携し、国民健康保険税口座振替キャンペーン事業で地域ブランド店舗にて使える商品券を配布 ○ 各種イベント等で出店、出品を行った。(日暮里道灌まつり、多摩モノまつり) ○ 第九小学校のまちづくり学習において、地域ブランドを題材として学習を行い、市内事業者に新商品を提案した。
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	認証ブランドになったことによるメリットが少ないため、認証されたことによる優位性等を明確にする必要がある。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	地域ブランドのキャンペーンや、認証商品を増やすための取組を行う。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	ブランド認証商品数	11 品目	11 品目	15 品目	△

⑤	事業名：村山大島紬の振興	事業課：産業観光課
---	--------------	-----------

施策の概要	伝統的工芸品産業である村山大島紬の周知に努めるとともに、村山織物協同組合が行う宣伝活動事業や後継者育成への取組について支援を行い、少数化した生産者への直接支援について検討を行う。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 織物協同組合が行う宣伝事業に対し補助金を交付 ○ 市ホームページにて、村山大島紬について周知 ○ 各種イベントへ出展 ・ 東京都伝統工芸品展 ・ 迎賓館赤坂離宮「伝統工芸 継承と創造」 ・ 村山デエダラまつり 等
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	イベント等でのPR活動に加え、より効果的な宣伝活動の方法を検討する。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	引き続き、村山織物協同組合が行う宣伝事業に対し補助金を交付するとともに、市ホームページ等で村山大島紬について周知を行う。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	体験イベントへの参加者数及び見学者数	251 人	420 人	300 人	◎

(4) 時代のニーズに対応する農業の創造

<重要業績評価指標 (KPI)>

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
K P I	新規就農者数の累計	1 人	6 人	6 人	◎

施策の概要	農業の新たな担い手を確保するとともに、農業に新規参入する農業者へ様々な支援を行うことにより、安定した農業経営と農業への定着を図る。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 認定新規就農者個別相談会を実施（令和8年度認定予定） ○ 農業経営改善支援センター運営委員会を開催
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	新規就農者が貸借する農地を確保する必要がある。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	東京都農地中間管理機構である東京都農業会議と連携を密にし、新規就農者を受け入れるべく、貸借できる農地について農業委員と連携して確保していく。

<主な事業とCSF>

①	事業名：認定農業者数	事業課：産業観光課
---	------------	-----------

施策の概要	農業の中心的な担い手となる認定農業者について、メリットを明確にし、農業委員会や各種関係団体を通して制度の普及を推進することにより、認定農業者の拡充を図るとともに、認定農業者の経営改善計画の達成に向け、農産物の増産や施設整備等に対する支援を行う。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 農業経営改善計画に係る個別相談会：新規認定申請者2件、更新認定申請者15件（広域認定申請者1件含む） ○ 農業経営改善計画支援センター運営委員会を開催
目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など）	近年、認定農業者自身の高齢化や機械、資材等の必要経費の増加に伴い、更新を断念する認定農業者が増えつつある。今後は、認定農業者に準ずる農業者に対し、制度の周知や理解を求めていく方策を検討することが課題である。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	引き続き、農業経営改善計画に係る個別相談会を実施するとともに、農業経営改善計画支援センター運営委員会を開催する中で、認定農業者の拡充に努める。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
CSF	認定農業者数	39 経営体	44 経営体	45 経営体	○

②	事業名：観光農園の充実	事業課：産業観光課
---	-------------	-----------

施策の概要	みかん狩り等を行うことができる観光農園について、広報紙や市ホームページを活用した情報発信を行うとともに、「観光農園からかたくりの湯へ」といった観光案内もあわせて発信することにより、近郊からの来訪者の増加を図る。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 市ホームページによる情報発信や案内チラシの配布等により、みかん狩りのPRを実施
目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など）	農園経営者の高齢化により、経営の継続が年々困難となっている。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	市ホームページでの情報発信や案内チラシの配布等のほか、今年度新たに作成するPR用冊子を活用して、観光農園を積極的にPRする。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
CSF	観光農園数	10 か所	10 か所	11 か所	△

③	事業名：体験型市民農園の開設	事業課：産業観光課			
施策の概要	市民が農業にふれあう機会の創出と良好な都市農地の保全を図るため、農作業の未経験な市民でも気軽に農業体験ができるよう、農園主が自ら農作業の指導を行う体験型市民農園の拡充を図る。				
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 令和7年度、新たに1か所の市民農園が開園				
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	令和7年度に開園した市民農園の区画数に空きがあるため、広報について支援を行う。				
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	既に開園している3か所の市民農園について、農園運営上の支援を行う。				

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	体験型市民農園数	2か所	3か所	3か所	◎

④	事業名：援農ボランティア制度	事業課：産業観光課			
施策の概要	農作業を通じて市民が農業にふれあう機会を創出するため、また、人手が不足している農業者を支援するため、援農ボランティア制度により農作業の効率化を図る。				
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 援農ボランティア新規登録：2名 ○ 農業者へ派遣：2名				
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	援農ボランティア登録者の高齢化により、登録者数が減少傾向にあり、新たな派遣が困難となっている。				
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	市報及び市ホームページでの援農ボランティアの募集に加えて、新たな募集方法を検討し、登録者数の増加に取り組む。				

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	援農ボランティアの登録者数	13 人	13 人	25 人	△

(5) 個性豊かな観光施策の推進

<重要業績評価指標（KPI）>

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
KPI	村山温泉「かたくりの湯」の入場者数	158,958 人/年	0 人/年	203,000 人/年	△

施策の概要	温泉資源を活用することにより、市民の健康を維持増進するとともに、多世代間の交流を促進し、併せて観光の振興を図り、もっていきいきとした地域社会の形成に資する。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 令和7年度の営業再開に向けて改修工事を実施 ○ 指定管理者と協定書を締結 ○ 改修工事の延期に伴い、令和7年度中に営業再開をすることはできなかった。
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	利用者が安心・安全に施設を利用できる環境を整備するため、改修工事を引き続き実施する必要があるが、施設の老朽化が進行していることから計画的な修繕が必要である。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	改修工事を着実に実施し、利用者が安心・安全に施設を利用できる環境で営業再開を目指していく。 また、営業再開後も指定管理者と密に連携を図りながら、安定した運営を目指していく。

<主な事業とCSF>

①	事業名：村山温泉「かたくりの湯」周辺を核とした交流エリアの形成	事業課：産業観光課
---	---------------------------------	-----------

施策の概要	村山温泉「かたくりの湯」を核とする狭山丘陵を散策し、温泉につかり、地元産の食材を使った食事を楽しみながら交流を図れるような観光ルートを設定する。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 既存の観光ルートをホームページにて周知した。
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	かたくりの湯を核とした観光ルートを設定するには、かたくりの湯の営業再開が必要であることから、改修工事を着実に進めていき、利用者が安心・安全に施設を利用できる環境を整備する必要がある。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	かたくりの湯の営業再開後、直ちに指定管理者や観光まちづくり協会と連携し、かたくりの湯を核とした観光ルートの検討を行う。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
CSF	観光ルート（広域含む）の設定	未設定	2 ルート	5 ルート	○

②	事業名：観光マップの作成	事業課：産業観光課
---	--------------	-----------

施策の概要	当市に訪する外国人向けに多言語化した観光マップを作成し、外国人にも当市の魅力を発信する。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 英語、中国語を併記した観光マップを作成し、各種イベント等にて来場者へ配布
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	観光まちづくり協会でも観光マップを作成していることから、今後は観光まちづくり協会が中心となって観光マップを作成していくよう連携を図っていく必要がある。また、観光マップを多くの方に手にしてもらえるよう、新たなイベントにも参加し周知を図る必要がある。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	観光まちづくり協会と連携や東京都等の補助金を活用しながら、より充実した内容の観光マップを作成するとともに、多くの方々に見てもらえるよう、市内の大型ショッピングモール等に観光マップを設置してもらえるよう依頼していく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	観光マップの多言語化	未実施	実施	実施	◎

③	事業名：武蔵村山魅力マイスターの活動	事業課：産業観光課
---	--------------------	-----------

施策の概要	観光資源の効果的な周知を図るため、「武蔵村山魅力マイスター」(本市の魅力を伝える技をもつ匠や伝承する力をもつ人)による体験の提供機会を増やし、「武蔵村山魅力教え隊」の活用とあわせて活動の促進を図る。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 武蔵村山観光まちづくり協会と調整し登録者増加に向けた今後の取組について検討
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	観光まちづくり協会に事務移管しているが、現状の人員体制では魅力マイスターを活用することに留まり、新たな人材の発掘までには至っていない。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	魅力マイスターの活動内容等について、市のSNS等にて発信し周知を図っていく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	登録人数	25 人	18 人	35 人	△

④	事業名：ロケーションサービス	事業課：産業観光課
---	----------------	-----------

施策の概要	本市の魅力を広く発信することによって多くの人に訪れてもらうために、「武蔵村山観光まちづくり協会」により、映画等の撮影場所の誘致や撮影支援を行うロケーションサービスを実施する。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 公共施設での撮影の問合せがあった際は、貸出等が円滑に行えるよう各課と調整を実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	問合せ件数の増加と成約件数が比例していることから、問合せ件数を増加させるため、広報を充実させる必要がある。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	市のSNS等の媒体を活用しロケーションサービス事業について周知を図っていく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	受入件数	未実施	30 件	50 件	○

⑤	事業名：文化財の観光資源としての活用	事業課：文化振興課
---	--------------------	-----------

施策の概要	歴史のある神社仏閣などの文化財を観光資源として活用するため、引き続き、文化財を巡る歴史の散策コース周知に努めるとともに、市民参加型でのテーマ別のコース設定などの検討を行い、市内への来訪者の増加を図る。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ ガイドマップ「むさしむらやま歴史散策コース」を頒布
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	引き続き、歴史散策コースに係る案内標柱の維持管理を行うとともに、ガイドマップ「むさしむらやま歴史散策コース」の頒布や各種事業を通じて歴史散策コースの周知を図っていく。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	ガイドマップ「むさしむらやま歴史散策コース」頒布による歴史散策コースの周知や歴史・文化財講座等の実施により、文化財保護意識の高揚を図るとともに、市内来訪者の増加を図っていく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	市民参加による歴史散策コースの設定	2 コース	7 コース	4 コース	◎

⑥	事業名：市民まつり（村山デエダラまつり）の開催	事業課：産業観光課			
施策の概要	市民まつりを市と共に主催する武蔵村山市民まつり実行委員会に対し交付金を交付することにより、市民まつりの充実を図り、もって地域の活性化に資する。				
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 市民まつり実行委員会へ交付金を交付 ○ 令和7年11月8日、9日に第17回村山デエダラまつりを開催				
目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など）	会場の変更に伴い、従前よりも会場が縮小したことから、来場者が減少している。 また、令和7年度については、日曜日が雨天であったため、来場者が減少した。				
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	会場のスペースの都合上、目標値を達成することは困難な状況ではあるが、市民まつり実行委員会と連携し、会場レイアウトの変更や出店者数の増加、ステージイベントの充実等により、来場者の増加を図っていく。				

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	来場者数	70,000 人/年	31,340 人/年	80,000 人/年	△

⑦	事業名：観光納涼花火大会の開催支援	事業課：産業観光課			
施策の概要	武蔵村山市商工会が開催する観光納涼花火大会に対し交付金を交付することにより、その充実を図り、もって観光事業の振興に寄与する。				
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 観光納涼花火大会実行委員会へ補助金を交付 ○ 令和7年8月30日に花火大会を開催				
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	現況値の来場者の集計方法と現在の集計方法に相違があるため、目標値を達成することは困難な状況となっている。 また、来場者は増加傾向にあるが、現在の会場では目標人数の来場者を収容できる可能性が低いことから、開催時期や開催場所について検討する必要がある。				
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	来場者は増加傾向にあるが、現在の会場では目標人数の来場者を収容できる可能性が低いことから、開催時期や開催場所について花火大会実行委員会と検討していく。 また、今後も円滑に花火大会が開催できるよう会場や駐車場の確保などについて支援していく。				
KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	会場来場者数	14,000 人/年	10,134 人/年	15,000 人/年	△

(6) 利便性の高い公共交通網の形成

<重要業績評価指標（KPI）>

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
KPI	市内循環バス「MMシャトル」路線の1便当たり平均輸送人員	5.61 人/年	6.14 人/年	6.11 人/年	◎

施策の概要	公共交通の利便性向上の取組として、路線バスの充実について関係事業者に要請する。 また、まちづくりの整備状況や利用者の声を勘案しながら、関係機関と連携し効率的な運行と利用促進を図る。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 運行事業者との協議調整 ○ 利用促進PR（市報への定期掲載による利用促進PR、デエダラまつりでの周知啓発、MMシャトルグッズ作成） ○ 市民、交通事業者、関係機関等で構成する地域公共交通協議会において検討を行い、令和8年3月に地域公共交通計画を策定
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	今後、利用者数を増加させるに当たっては、地域公共交通計画に掲げる施策・事業の実施により、地域公共交通の利用を促進することが重要である。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	令和8年3月に策定した地域公共交通計画に基づき、公共交通の利用促進策等の施策・事業を推進していく。

<主な事業とCSF>

①	事業名：多摩都市モノレールの市内延伸の促進	事業課：沿線まちづくり課
---	-----------------------	--------------

施策の概要	多摩都市モノレールの市内延伸の早期実現に向けて、東大和市及び瑞穂町と共同で策定した「モノレール沿線まちづくり構想」を踏まえたまちづくりを推進するとともに、市と市民が連携した促進活動や東京都などの関係機関への要望活動を行う。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 要望活動の実施（多摩地域都市モノレール等建設促進協議会） ○ 多摩都市モノレール基金積立及び募金活動 ○ PR推進事業（情報誌の発行、モノレール関連物品作製・販売、フォトコンテスト作品募集、ラッピング事業のクラウドファンディング支援募集） ○ 多摩都市モノレール延伸に関する都市計画決定の周知 ○ 沿線市町との情報共有・意見交換
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	多摩都市モノレールの延伸に関する都市計画決定、また、都市計画事業認可を取得し、延伸の促進に係る目標は達成した。 今後は、2030年代半ばの開業に向け、まちづくりを推進していく。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	多摩都市モノレールの市内延伸は都市計画決定及び事業認可が取得されているが、「武蔵村山市多摩都市モノレール沿線まちづくり方針」を踏まえたまちづくりを推進していくため、市民へのPR活動や情報発信、また、東京都や周辺自治体との情報共有等を継続していく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
CSF	事業の推進	推進	推進	推進	◎

(7) にぎわいと活力のある魅力的なまち・まちづくり

<重要業績評価指標（KPI）>

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
KPI	都市核地区土地区画整理事業施行地区内の新青梅街道 拡幅用地の確保	90%	100%	100%	◎

施策の概要	将来の商業核の形成を誘導するべく、住工の混在をできるだけ解消し、良好な住宅地の形成と魅力あるまちの実現を目指して、都市核地区土地区画整理事業を推進しており、事業区域内の多摩都市モノレールの導入区間となる新青梅街道の拡幅用地確保を実施している。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 道路拡幅用地について、維持管理を実施（令和3年度に確保済み）
目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など）	権利者へ固定資産税及び都市計画税率の上昇や清算金（徴収）について分かりやすく丁寧に説明し、税関係について御理解をいただき、引き続き事業への御協力をお願いしていく。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	土地区画整理事業は、多摩都市モノレールの延伸に先駆けて実施している事業のため、早急に事業を完了させることが責務である。このため、物件補償、街区道路工事等の早期完了及び仮換地の指定率の向上を図る。

<主な事業とCSF>

①	事業名：新青梅街道沿道の用途地域等の変更及び地区計画の 策定	事業課：沿線まちづくり課
---	-----------------------------------	--------------

施策の概要	新青梅街道沿道の特性に応じた計画的な土地利用の誘導を図るため、「新青梅街道沿道地区まちづくり計画」に基づき、拡幅整備の実施と合わせて、新青梅街道沿道の用途地域等の変更及び地区計画の策定を行う。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 多摩都市モノレール延伸計画（箱根ヶ崎方面）の公表を受け、第2ステップとして多摩都市モノレールの延伸後を見据えた沿線及び新駅周辺のまちづくりを進めていくため、新駅周辺や沿線の将来像を定めた「多摩都市モノレール沿線まちづくり方針」を策定（令和3年度末時点で目標値達成済み） ○ No.4駅周辺まちづくり協議会を設置し、協議結果を取りまとめた提言書を令和8年3月に作成
目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など）	新青梅街道沿道の用途地域等の変更を行うために、駅周辺まちづくり協議会において意見を聴取した上で、提言書を取りまとめ、内容の検討を行う必要がある。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	今年度中に、No.2、5駅周辺まちづくり協議会の開催を完了させる予定である。その後、各協議会の提言書を取りまとめ、「武蔵村山市多摩都市モノレール沿線まちづくり方針」を踏まえて、用途地域変更等を検討していく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
CSF	新青梅街道沿道地区における地区計画の策定件数	1件	4件	4件	◎

②	事業名：立川都市計画道路3・4・39号線整備事業	事業課：都市計画課
---	--------------------------	-----------

施策の概要	三本複交差の南側約400mの区間は、休日を中心に慢性的な渋滞が生じており、今後、土地区画整理事業の進捗などにより、交通量の増加が見込まれていることから、既存道路を拡幅整備し、交通の円滑化や歩行者等の安全性の向上を図る。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 用地の折衝 ○ 用地の取得及び物件補償の契約
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	用地取得に時間を要する土地があるため、目標値を達成することが困難な状況である。事業期間も令和8年度末で終了することから、事業期間の延長についても東京都と協議が必要である。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	令和8年度は用地取得を主軸にし、個別に調整が必要な案件等用地取得の際の課題となっている事項について、課題解決に向けた施策を実施する。 また、東京都と連携を図りながら、事業延長について必要な調整を行う。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
CSF	拡幅整備	推進	推進	工事着工	○

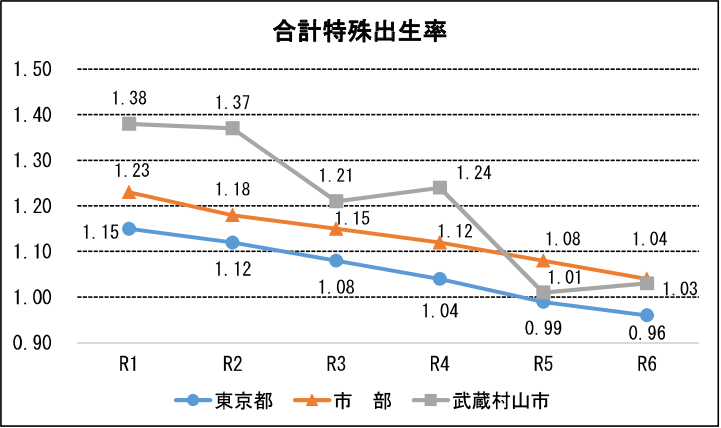
基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標

指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
合計特殊出生率	1.55	1.03(※)	1.60	△
「武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思う」人の割合	72.1%	調査未実施	80%以上	—

※ 合計特殊出生率については、例年、冬頃、区市町村別の数値が公表される。そのため、実績値は前年の数値である。

目標達成への課題 (目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)
令和5年度調査時点において、目標値に達していないことから、令和7年3月に策定した「武蔵村山市子ども計画」に基づき各事業に着実に取り組む必要がある。
課題を踏まえた令和8年度以降の主な取組等
武蔵村山市子ども計画に基づく各事業について、PDCAサイクルにより定期的に進捗状況の確認、点検、評価を通じて計画の推進を目指す。



具体的施策

(1) 結婚・妊娠・出産・子育てへの支援

<重要業績評価指標（KPI）>

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
KPI	認可保育所の入所待機児童数	39 人	0 人	0 人	◎

施策の概要	保育所の建て替え・改修時期等に合わせた保育所の定員枠の拡大や保育所定員の弾力的な運用を推進するとともに、保育士資格取得に係る費用の補助や保育士宿舍借上補助など保育士の確保対策を行い、認可保育所の入所待機児童の解消を図る。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 保育所に弾力的な運用による受入れ態勢の確保を要請 ○ 保育士を確保するため、保育士の処遇改善や宿舍借上補助を実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	歳児により空きのある保育所があるものの、希望の1園のみを申請する保護者に対し、複数の希望園を申請するよう強要はできない。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	入園申し込みを受けた際に、空きのある保育所の情報提供を行い、待機児童の解消に努める。

<主な事業とCSF>

①	事業名：地域型保育事業	事業課：子ども育成課
---	-------------	------------

施策の概要	少人数の単位での保育事業を可能とする地域型保育事業（3歳未満児を対象とする小規模保育・家庭的保育・事業所内保育及び居宅訪問型保育事業）の活用について、検討を行い、事業実施を目指す。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 小規模保育事業所「大南つぼみ保育園」で事業実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	入所児童が、満3歳となり小規模保育所から卒園した後も引き続き、同法人の連携施設である育成会ひまわり保育園及びめぐみ保育園へ継続入所できるよう注視していく。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	少人数ならではの園児一人一人に向き合った保育ができるため、その利点をアピールしていく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
CSF	実施事業所数	未実施	1 か所	1 か所	◎

②	事業名：延長保育の充実	事業課：子ども育成課
---	-------------	------------

施策の概要	保育所において、通常の利用時間以外の時間に保育を実施する延長保育について、充実を図り、多様な子育て支援サービスの提供体制を整備する。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 保育所 11 か所で実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	未実施の保育所については、法人の子育てに対する強い理念（地域、家庭、保育園で育てる）があるため、強制ができない状況である。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	延長保育事業を実施している保育所は 11 か所であるものの、延長保育事業を更に求めるような保護者からの意見がないことから、ある程度、延長保育事業の需要は賄えていると考えている。 今後も引き続き利用児童数の動向を注視していく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	延長保育の実施保育所数	11 か所	11 か所	13 か所	△

③	事業名：休日保育事業	事業課：子ども育成課
---	------------	------------

施策の概要	保護者の就労等により、日曜日や祝日の日中に家庭での保育に欠ける場合、保育を実施することにより、多様な子育て支援サービスの提供体制を整備する。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 小規模保育事業所大南つぼみ保育園で事業を開始（登録者数：7人、利用実績：4人）
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	昨年度と比べ、利用実績は微増したものの、目標を超える施設数の整備は難しい。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	利用者が増えるよう、引き続き窓口や市ホームページ等で周知を行う。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	休日保育の実施保育所数(日曜日・祝日の保育)	未実施	1 か所	1 か所	◎

④	事業名：病児保育事業	事業課：子ども子育て支援課
施策の概要	病中又は病気の回復期にあって保育を受けることが困難な期間にある児童を一時的に預かり、児童の健全な育成及び資質の向上と、保護者の子育てを支援する。	
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 感染症対策を行い、利用形態を維持 ○ 令和6年度から、利用申込み方法をWEB予約に変更し、利用しやすい環境に改善	
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	病児保育事業については、その時期の感染症、その他の疾病の罹患状況等により、利用対象者が大きく変動する傾向があり、強力に周知を進めたとしても、必ずしも利用者数の増加につながるわけではないものの、引き続き病児保育に係る周知に努める。	
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	保護者の子育て支援を推進するため、幅広い周知及びPRに努める。	

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	延べ利用者数	234 件/年	432 件/年	550 件/年	○

⑤	事業名：子育て世代包括支援センター（ハグはぐ・むらやま）	事業課：子ども子育て支援課
施策の概要	母子健康手帳交付時に、保健師が全ての妊婦の面接を実施し、妊婦の実情を把握した上で、要支援者に対しては支援プランを作成する。また、妊娠・出産・子育てに関する各種の相談に応じ、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を提供する。	
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 妊娠期からの様々なニーズに対する総合的な相談支援を提供するため、ワンストップ拠点としての子育て世代包括支援センターを運営	
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	今後とも妊娠期からの様々なニーズに応えるため、子育て世代包括支援センターの周知に努める。	
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	引き続き、妊娠期からの様々なニーズに対する総合的な相談支援を提供するため、ワンストップ拠点としての子育て世代包括支援センターの運営を行う。	

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	保健師等による全ての子育て家庭に対する面談率	100%	100%	100%	◎

⑥	事業名：予防接種情報システムの運用	事業課：健康推進課
施策の概要	乳幼児が安全かつ確実に予防接種を接種できるよう、予防接種スケジュールを自動的に作成し、お知らせする予防接種情報システムを運用する。	
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 「子ども・子育て応援ナビ（アプリ）」の周知 ・ チラシ配布（母子健康手帳交付時、妊産婦・新生児訪問、3～4か月児健診） ・ 初めて予防接種予診票（生後2か月対象）を送付する際にチラシを同封 ・ 保健事業予定表（3月に全戸配布）に掲載	
目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など）	導入から複数年が経過し、累積の登録者数は増加しているが、出生数減少の影響もあり、新規登録者が減少傾向となっている。 今後は、事業評価のため、登録者数以外の項目（アクティブユーザー数や閲覧数の多いページ等）の把握やアンケート機能の活用を検討していく。	
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	引き続き母子健康手帳交付時、妊産婦・新生児訪問の際や初めて予防接種予診票（生後2か月対象）を送付する際に案内チラシを同封するほか、転入者にも周知を図る。 今後、市が導入しているアプリのリニューアルも予定されていることから、より利便性を高め、効果的に利用・情報提供ができるようアプリの内容等について調整を図っていく。	

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	登録者数	316 件/年	233 件/年	350 件/年	△

⑦	事業名：市民、事業所におけるワーク・ライフ・バランスの推進	事業課：協働推進課
施策の概要	ワーク・ライフ・バランスに取り組む事業所をワーク・ライフ・バランス推進事業所として認定し、当該認定事業所又はその取組内容を広く紹介することにより、事業所におけるワーク・ライフ・バランスの推進を図る。	
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 武蔵村山市ワーク・ライフ・バランス推進事業所を認定 新規認定：3事業所 更新認定（2回目）：4事業所	
目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など）	令和7年度の目標値は、令和3年度時点で達成している。 ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定基準として定めた27の取組のうち、15以上実施していた場合に認定しており、今後も一層認定事業所を増やすため、市報や緑が丘ふれあいセンターが発行する情報誌「Y O U ・ I」（武蔵村山市男女共同参画センターゆーあい発行）への掲載、商工会を通じた市内事業所への制度の周知などを行い、もって市内事業所の意識醸成を図る。	
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	令和5年度に認定した事業所の認定期間が令和8年度で満了となるため、事業所の再認定に向けた意欲向上を図る仕組みの導入等を検討し、更なるワーク・ライフ・バランスの普及及び推進を図る。 また、新規認定件数の増加に向けて、商工会の協力を得るなどして制度の周知に努める。	

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	ワーク・ライフ・バランス推進事業所の認定件数	0 件	31 件	5 件	◎

⑧	事業名：市役所男性職員の育児休業取得率の向上	事業課：職員課
---	------------------------	---------

施策の概要	市役所が率先して、ワーク・ライフ・バランス等の取組を推進し、男性職員の育児休業の取得促進を図る。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 新たに取得可能となった男性職員に対し、各種制度を紹介した冊子の配布・説明 ○ 育児休業の対象となる男性職員及びその所属長に対し、育児休業の提案及び個人の事情等に配慮した具体的な情報提供
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	目標を達成しているが、更なる取得率の向上に取り組む。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	前年度の取組内容を継続して行うとともに、令和7年度に新たに導入・拡充した、配偶者等が妊娠や出産等をした事実の申し出があった職員に対する意向確認や、部分休業の制度を活用していく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	取得率（5か年平均）	5.5%	52.5%	15.0%	◎

(2) 子育てしやすいまちづくり

<重要業績評価指標（KPI）>

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
K P I	「武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思う」就学前児童の保護者の割合	72.8%	調査未実施	77.8%	—

施策の概要	結婚から出産、子育てまでの一貫した支援を行い、さらには子育てと仕事の両立を図ることで、子どもを産み育てやすいまちづくりを目指す。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 「子ども・子育て支援事業計画」、「子どもの未来応援プラン」及び「子ども・若者計画」を一体の計画として、令和7年3月に策定した「武蔵村山市子ども計画」に基づき、関係各課において各事業を推進
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	令和5年度調査時点において、目標値に達していないことから、令和7年3月に策定した「武蔵村山市子ども計画」に基づき各事業に着実に取り組む必要がある。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	武蔵村山市子ども計画に基づく各事業について、PDCAサイクルにより定期的に進捗状況の確認、点検、評価を通じて計画の推進を目指す。

<主な事業とCSF>

①	事業名：移動式赤ちゃんの駅の活用	事業課：子ども子育て支援課
---	------------------	---------------

施策の概要	市内で開催されるイベント等に対し乳幼児のおむつ交換や授乳を行うための簡易設置型授乳室を貸し出すことにより、乳幼児を抱える子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを促進し、子育て家庭の負担の軽減を図る。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ イベント時の貸出：2件
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	屋内のイベントでは既存の授乳室等が完備されていることが多いため需要は少ない。 利用対象が限定されていることから、利用母数自体が少なく、備品も大きく相応の車両や人員、設置スペースも必要であることから貸し出しの需要が少ないのが現状である。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	引き続きホームページ等での周知を図り、子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを促進するとともに、子育て家庭の負担の軽減を図る。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
CSF	地域イベント等での活用	5件/年	2件/年	10件/年	△

②	事業名：児童館親子ひろば事業（絵本読み聞かせ・みんなで あそぼう）	事業課：子ども子育て支援課
---	--------------------------------------	---------------

施策の概要	児童館の午前中の比較的利用者が少ない時間帯を利用し、乳幼児及びその保護者を対象に歌遊びや絵本の読み聞かせなどを行いながら交流や子育て相談できる居場所の提供を図る。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 令和6年度からは、児童館親子ひろば事業と、他の子育て関連事業を統合し、子ども子育て支援課の所管において「健やかひろば」及び「健やかひろば（理学療法）」として市内児童館や地区会館等で実施 ○ 乳幼児及び保護者が気軽に集い、交流を図る場を提供 ○ 子育てに関する相談の受付や対応並びに子育て関連情報を提供 ○ 実施形態は、自由遊びや子育て相談ができる「通常ひろばコース」と、療育を主体とする「理学療法コース」 ・ 健やかひろば事業 実施回数：210回 参加者数：3,430人
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	読み聞かせだけではなく、運動遊び、季節のイベント、制作等、様々な遊びの提供とともに子育てに関する相談の受付並びに子育て関連情報の提供を複合的に実施しているため、読み聞かせのみの参加者数の把握は難しい。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	参加者のニーズを把握し、今後も子育て中の家庭の支援につながる事業内容を検討していく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
CSF	絵本の読み聞かせ実施回数及び参加者数	46回/年 1,037人/年	—	48回/年 1,200人/年	—

③	事業名：絵本読み聞かせ事業（図書館のおはなしの会）	事業課：図書館
---	---------------------------	---------

施策の概要	本に対する興味を育て、本に親しんでもらうとともに、保護者とお子さんが本を通じてコミュニケーションを図るきっかけづくりのため、絵本や紙芝居の読み聞かせのほか、手遊びなどを行っている。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 絵本の読み聞かせを以下のとおり実施 ・ 雷塚図書館：24回 ・ 三ツ木地区図書館：12回 ・ 中久保図書館：12回 ・ 大南地区図書館：12回 ・ 中藤地区図書館：12回 ・ 残堀・伊奈平地区図書館：12回
目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など）	多くの人が参加できるように開催方法や内容についての工夫が必要である。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	開催の方法及び参加者数を増加させるため、近隣市町の実施方法を調査するなどの情報収集を行う。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	絵本の読み聞かせ実施回数及び参加者数	114回/年 1,014人/年	84回/年 519人/年	120回/年 1,200人/年	△

④	事業名：放課後子供教室の充実	事業課：文化振興課
---	----------------	-----------

施策の概要	放課後の余裕教室等を活用し、安全・安心な子供の居場所を設け、学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取組を推進する。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 市内全小学校9校において、地域住民等の参加・協力を得て、子供たちの安全で健やかな居場所づくりを推進する事業を実施
目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など）	引き続き、全校（9校）実施の継続に努める。 また、人材不足等が生じた際は、学校、市報、市ホームページ等を活用し人材確保に取り組む。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	放課後に児童が安心・安全に過ごせる居場所を提供できるよう、安定した運営に努める。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	放課後子供教室実施校数	7校	9校	9校	◎

⑤	事業名：放課後子ども総合プラン事業の推進	事業課：文化振興課、子ども育成課（児童館）
施策の概要	共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、時代を担う人材を育成するため、全就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、一体型を中心とした放課後子供教室及び学童クラブの計画的な整備等を進める。	
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 小学校6校（6か所）での実施に向けて各学童クラブと調整し、一体型イベントとして体験・活動を実施	
目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など）	学童クラブと協力したイベント等を開催できるよう調整を図る。	
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	安定した運営を目指し、一体型事業の取組について、事業実施に向けた方向性等を検討する。	

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	一体型の運営を行う学童クラブ及び放課後子供教室の設置数	4 か所	6 か所	5 か所	◎

⑥	事業名：子どもの未来応援プランの策定及び推進	事業課：子ども政策課
施策の概要	全ての子どもたちとその家庭を見守り支援する「武蔵村山市子どもの未来応援プラン」を策定し、子どもの貧困対策等を総合的に推進する。	
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 「子ども・子育て支援事業計画」、「子どもの未来応援プラン」及び「子ども・若者計画」を一体の計画として、令和7年3月に策定した「武蔵村山市子ども計画」に基づき、関係各課において各事業を推進	
目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など）	令和5年度調査時点において、目標値に達していないことから、令和7年3月に策定した「武蔵村山市子ども計画」に基づき各事業に着実に取り組む必要がある。	
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	武蔵村山市子ども計画に基づく各事業について、PDCAサイクルにより定期的に進捗状況の確認、点検、評価を通じて計画の推進を目指す。	

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	将来のゆめが「ある」と回答した児童・生徒の割合	小5：77.1% 中2：57.9%	調査未実施	小5：80.0% 中2：62.0%	—

(3) 子どもの知力・体力の向上

<重要業績評価指標（KPI）>

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
KPI	高校進学に際して第一志望校へ合格する割合	83.2%	95.2%	85.0%	◎

施策の概要	児童・生徒一人一人に確かな学力を身に付けさせる基盤となる学習意欲の向上及び学習の規律の確立を図るため、指導方法や指導体制の工夫・改善に努める。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 小中一貫教育を全小・中学校で実施し、義務教育9年間を通じた系統的なキャリア教育の充実
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	年度によって生徒の実態も異なることから、継続的に目標値を達成できるようにすることが課題である。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	適宜、進路情報について、学校を通じて高校進学を希望する生徒やその保護者へ提供するとともに、調査の確度向上を図るため、進路指導主任会等において、情報の収集に努める。

<主な事業とCSF>

①	事業名：市学力調査	事業課：教育指導課
---	-----------	-----------

施策の概要	児童・生徒の学力向上を図るために、学力調査を実施し、結果を分析する。 分析した検証結果については、学校における事業改善の具体的手立てへとつなげていく。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 市内小学校第4～5学年及び中学校第1～2学年に対し、国語・算数・数学の学力定着状況調査及び生活・学習意欲調査を実施 ・ 調査人数：(小学校) 1,071人 (中学校) 994人 ・ 平均正答率：(小学校4年) 国語 55.2%、算数 50.7%、(小学校5年) 国語 57.9%、算数 47.5% (中学校1年) 国語 53.9%、数学 50.8%、(中学校2年) 国語 64.3%、数学 47.8%
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	分析結果から、例年生徒が苦手とする分野について把握できており、確実に身に付けるための反復学習が課題である。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	学力向上推進委員会、各職層への研修会において、学力向上について具体的な数値と取組を確認する。 定着に課題が見られた単元を集中的に学習指導、支援をする。 夏季休業中や放課後の補修学習を推奨し、学力向上を推進する。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
CSF	中学校1年生の国語の平均正答率と全国平均正答率との相対比率	91.6%	85.6%	100%	△

②	事業名：英語検定	事業課：教育指導課
---	----------	-----------

施策の概要	小中学校で培った英語力を測るという具体的な努力目標を持たせ、学習に対する意欲の向上と英語力の定着を図ることを目的に、中学校第3学年の希望生徒を対象として英語検定の受験に係る支援を行う。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 英語検定の費用に掛かる支援：215人 ○ 令和7年度は、令和6年度と比較し受験率増加
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	学校側のニーズを捉えた上で、本事業の周知を今後も図り、受験率の向上を図る。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	引き続き、英語検定委託事業を実施し、挑戦する意欲の向上を図る。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	中学校3年生の受験率	40.6%	34.1%	60.0%	△

③	事業名：東京都統一体力テスト	事業課：教育指導課
---	----------------	-----------

施策の概要	児童・生徒の体力・運動能力及び生活・運動習慣等の実態を把握・分析することにより、体力・運動能力等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。また、学校における児童・生徒の体力・運動能力等の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 市内全小・中学校で東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査を実施 ・ 調査対象：市内小学校第5学年（男子260人、女子299人） 市内中学校第2学年（男子228人、女子232人）
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	運動・スポーツの実施時間と体力合計点との関係を見ると、運動実施頻度と同様に、運動時間が多い児童・生徒ほど、体力テストの合計点も高い傾向にあるため、各学校の取組により体育・保健体育授業以外での時間における、運動実施時間を30分長くすることができるかが課題である。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	体力テストに向けた取組や各校独自の取組等を交流し、体力向上全体計画に反映させていく。その計画に基づき、体育授業の指導の工夫など、授業改善につなげ、より一層の体力向上に努める。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	小学校5年生のシャトルランの平均値（回数）	男子49.2回 女子36.9回	男子47.7回 女子34.5回	男子51回 女子40回	△
C S F	中学校2年生の持久走(男子1,500m)、(女子1,000m)の平均値（秒数）	男子395.6秒 女子295.6秒	男子422.4秒 女子319.8秒	男子386秒 女子286秒	△

(4) 教育環境の整備

<重要業績評価指標（KPI）>

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
KPI	不登校児童・生徒への教育相談等支援率	75%	45.0%	80%	△

施策の概要	教育相談室における相談の実施や全小中学校に配置されているスクールカウンセラーの活用など教育相談体制の充実を図るとともに、市内全小中学校で導入しているコミュニティ・スクールを活用した地域に開かれ、信頼される学校づくりなど教育環境の充実を図る。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ スクールソーシャルワーカーの活用 ○ スクールカウンセラーの活用 ○ 心理相談員と学習支援員による家庭訪問 ※ KPIの数値は、不登校児童・生徒を教育指導課が所管する教育相談等で支援した割合であり、児童相談所、子ども家庭支援センター、医療機関等での支援は除いている。 また、過去に支援を行った結果、他の支援につながった児童・生徒数も除いている。
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	不登校の原因である学業不振や人間関係の課題を解決するための授業改善や特別支援教育の推進を図り、学校の不登校への意識を向上させること。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	学校と家庭間で連絡を取ることができない状況にある不登校児童・生徒について、スクールソーシャルワーカーが民生・児童委員等と連携を図り、地域住民からの情報を有効に活用しながら、当該児童・生徒と保護者への対応を図る。 また、保護司会や民生・児童委員に対して、スクールソーシャルワーカーの役割などについての理解啓発を行い、相互連携の強化を図る機会をつくる。

<主な事業とCSF>

①	事業名：教育相談室事業・スクールソーシャルワーカー事業	事業課：教育指導課
---	-----------------------------	-----------

施策の概要	学校だけでは解決しない小・中学生の不登校、暴力・非行行為等の解決を図るため、臨床心理士、スクールソーシャルワーカー等が相談に応じるとともに、社会福祉の面から児童・生徒が置かれた環境へ働き掛けるなど関係機関とのネットワークを活用した支援を行う。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ スクールソーシャルワーカーの活用 ○ 心理相談員と学習支援員による家庭訪問
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	不登校の原因である学業不振や人間関係の課題を解決するための授業改善や特別支援教育の推進を図り、学校の不登校への意識を向上させること。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	学校と家庭間で連絡を取ることができない状況にある不登校の児童・生徒についてスクールソーシャルワーカーが民生・児童委員等と連携を図り、地域住民からの情報を有効に活用しながら、当該児童・生徒と保護者への対応を図る。 また、保護司会や民生・児童委員に対して、スクールソーシャルワーカーの役割などについての理解啓発を行い、相互連携の強化を図る機会をつくる。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
CSF	不登校出現率	小学校 0.79%/年 中学校 5.05%/年	小学校 2.71%/年 中学校 9.87%/年	小学校 0.54%/年 中学校 3.24%/年	△

②	事業名：スクールカウンセラーの設置	事業課：教育指導課
施策の概要	いじめ、不登校等の未然防止、改善、解決、学校内の教育相談体制等の充実を図るため、各小中学校にスクールカウンセラーを配置し、不登校児童・生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す。	
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ スクールカウンセラーの活用 ○ 心理相談員と学習支援員による家庭訪問 ○ 小学5年生及び中学1年生を対象としてスクールカウンセラーによる全員面接の実施	
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	不登校の原因である学業不振や人間関係の課題を解決するための授業改善や特別支援教育の推進を図り、学校の不登校への意識を向上させること。 不登校の生徒数は増加傾向にあり、早期からの相談支援を行う必要がある。	
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	不登校や引きこもりの未然防止に向けた支援を行うため、スクールカウンセラーが心理の専門家の立場から、児童・生徒や保護者等からの相談に対応する。 第一中学校、第三中学校についてはスクールカウンセラーを複数配置しており、相談率の向上のために相談体制の強化を図っていく。	

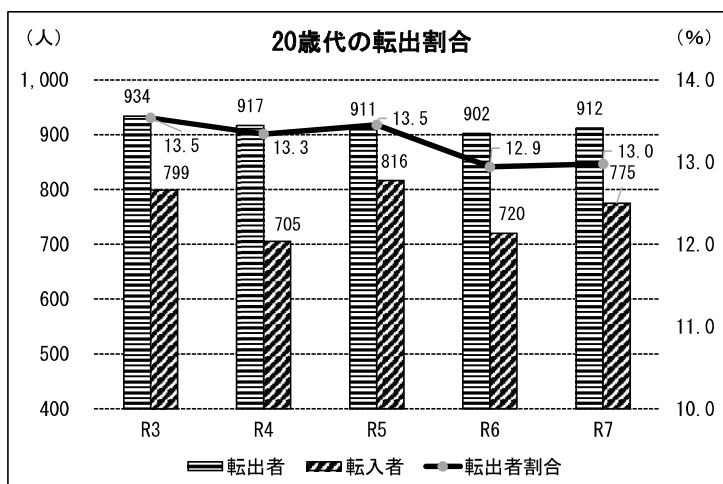
KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
CSF	不登校出現率	小学校 0.79%/年 中学校 5.05%/年	小学校 2.71%/年 中学校 9.87%/年	小学校 0.54%/年 中学校 3.24%/年	△

基本目標3 誰もが安心して暮らし続けられる地域をつくる

数値目標

指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
これからも本市に住み続けたいと思う人の割合	31.1%	調査未実施	36.1%	—
20歳代の転出者割合	12.6%	13.0%	11.6%以下	△

目標達成への課題 (目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)
これからも本市に住み続けたいと思う人の割合調査は未実施である。昨年の調査では、目標達成には至っておらず、魅力あるまちづくりを図るための施策が必要である。 20歳代の転出者割合は、昨年とほぼ同値で、依然として転出超過の状態にある。目標達成のため、引き続き若年層の転出抑制を図るための施策が必要である。
課題を踏まえた令和8年度以降の主な取組等
デジタル田園都市構想総合戦略等に基づき、若年層を中心とした人口流出を抑えるなど、効果的な施策を推進していく。



具体的施策

(1) 交通利便性や買い物環境の向上に向けたまちづくり

<重要業績評価指標（KPI）>

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
KPI	公共交通の整備についての満足度	13.4%	調査未実施	18.4%以上	—

施策の概要	市内循環バス「MMシャトル」の運行や乗合タクシー「むらタク」の運行を行う。 また、利便性の向上、効率的な運行のため、公共交通のあり方について検討を行う。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 各交通事業者や関係機関との協議・検討 ○ 市内循環バス「MMシャトル」及び乗合タクシー「むらタク」の運行維持 ○ 市民、交通事業者、関係機関等で構成する地域公共交通協議会において検討を行い、令和8年3月に地域公共交通計画を策定
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	今後、公共交通の整備についての満足度を向上させるに当たっては、地域公共交通計画に掲げる施策・事業の実施により、公共交通の利用促進や地域公共交通ネットワークのリデザイン等を検討することが重要である。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	公共交通の認知度が低い現状を踏まえ、市民に公共交通を知って利用していただくため、利用促進策を推進する。併せて、地域公共交通ネットワークのリデザインに向けた検討を進めていく。

<主な事業とCSF>

①	事業名：乗合タクシー「むらタク」の運行	事業課：交通企画課
---	---------------------	-----------

施策の概要	市内循環バス「MMシャトル」の利用者数が低迷していた運行ルートを廃止する代替として、市南西地域を対象とした乗合型の交通システムを導入した。 乗合タクシー「むらタク」は、利用者の自宅と市内の主要公共施設等の間を運行している。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 運行受託者との協議調整 ○ 利用促進PR（市報への定期掲載による利用促進PR、デエダラまつりでの周知啓発、市内保育園・幼稚園の園児協力によるぬり絵） ○ 乗合タクシー「むらタク」77,777人目乗車記念イベント実施 ○ 市民、交通事業者、関係機関等で構成する地域公共交通協議会において検討を行い、令和8年3月に地域公共交通計画を策定
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	目標値は達成しており、利用者数も徐々に増加している。 今後、利用者数を増加させるに当たっては、地域公共交通計画に掲げる施策・事業の実施により、地域公共交通の利用を促進することが重要である。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	令和8年3月に策定した地域公共交通計画に基づき、公共交通の利用促進策等の施策・事業を推進していく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
CSF	利用者数	4,028人/年	12,894人/年	4,500人/年	◎

②	事業名：まいど〜宅配事業	事業課：産業観光課
施策の概要	買い物弱者対策を目的に、商工会が実施する事業に対し、補助を実施している。 大型店と差別化を図るため、地域事業者が商品の注文配達、出張サービス時に高齢者の安否等の見守り活動を行っている。	
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 市内小規模事業者の育成と地域社会全般の活性化を図るため、商工会に対し補助金を交付	
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	ボランティアの人数が減少している状況にあるが、事業について市民への周知を進め、利用者数の増加につなげる。	
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	引き続き、商工会へ補助金を交付するとともに、事業の周知拡大を進める。 また、ボランティアを確保するための取組を商工会とともに検討する。 なお、村山団地建替事業による影響にも留意する。	

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	利用者数	2,148 人/年	1,110 人/年	2,200 人/年	△

(2) 安心して暮らせるまちづくり

<重要業績評価指標 (KPI)>

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
K P I	停電対策用資器材の避難所への備蓄	未実施	28 か所	15 か所	◎

施策の概要	停電対策用資器材を計画的に購入し、避難所における停電対策の充実を図っていく。	
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 蓄電池4基を備蓄品として寄附を受領	
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	引き続き、停電対策に係る資器材の充実化を図るほか、発電機等の動力源となる燃料についても計画的な備蓄を行っていく必要がある。	
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	庁有の電気自動車の台数を目安として、可搬型外部給電器の備蓄を進めていく。 また、発電機の備蓄用燃料についても、令和8年度に調達を行う。	

<主な事業とCSF>

①	事業名：防災士資格取得助成事業	事業課：危機管理課
---	-----------------	-----------

施策の概要	地域防災力の向上を目的とし、自主防災組織に所属し該当団体の長から推薦を受けた者及び消防団において分団長以上の役職経験がある者を対象に防災士資格取得に係る費用を助成する。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 令和7年度から、防災訓練参加や避難所運営への協力、市の防災計画等の策定への協力等、一定の要件を定めた上で助成対象を拡大し、一般市民も助成を受けられるよう制度を拡充 ○ 令和7年度は、本助成事業に対して4名の申請があり、申請者全員が年度内に防災士の資格を取得
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	令和8年度は、4月末現在で4名の申請を受理しており、市民のニーズを把握している。 引き続き、事業を継続し、地域の防災力向上を図っていく。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	現行の取組を継続し、地域防災のリーダーとなる防災士を養成する。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
CSF	防災士資格取得者数	9人	30人	37人	○

②	事業名：風水害に対する防災訓練	事業課：危機管理課
---	-----------------	-----------

施策の概要	台風や短時間豪雨による災害が、各地で頻発していることから、風水害への対応力を強化するため、災害対策本部の運営訓練や地域防災計画、災害時職員行動マニュアルなどの見直しを進める。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 令和3年3月に作成したマニュアルを基に、市民を対象にした避難所開設訓練を実施 ○ 令和6年及び令和7年度において、「武蔵村山市地域防災計画」の改訂作業を実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	小中学生や高齢者等、災害時に避難所運営に携わる可能性のある様々な年齢層の市民を対象として、避難所設営等の訓練を推進し、災害時における避難所運営体制の強化を図る必要がある。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	修正した地域防災計画等に準じた内容で、今後、各種マニュアルの改訂を行い、マニュアルの習熟を図っていく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
CSF	訓練の実施	未実施	実施	実施	◎

(3) 健康でいきいきと暮らせるまちづくり

<重要業績評価指標（KPI）>

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
KPI	市民の1年間での運動・スポーツ実施率	調査未実施	60.8%	70%	○

施策の概要	地域の現状や市民ニーズを的確に捉えながら、市民の主体的なスポーツ活動を総合的かつ計画的に推進する。また、スポーツ推進委員協議会等と連携し、地域における各種スポーツ・レクリエーション事業を実施し、市民の健康増進や地域の交流、地域スポーツの振興を図る。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 市主催事業を行うとともに、地域のスポーツ団体を支援することにより、市民がスポーツを行う機会を提供 ○ 市民の1年間での運動・スポーツ実施率のアンケート調査を実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	各スポーツイベントの参加率を高めるため、内容を充実させるとともにPR活動を積極的に行う必要がある。 チームで参加を募る場合に、自治会等の組織での参加が困難となってきた。 各イベントの参加について、個人でも容易に参加できるような開催方法を検討する必要がある。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	可能な限り市民のスポーツ実施の機会を創出するとともに、環境を整備していく。 これまで参加したことがない市民が、気軽に参加できるような募集方法を検討していく。

<主な事業とCSF>

①	事業名：健康相談	事業課：健康推進課
---	----------	-----------

施策の概要	健康や栄養に関する相談を随時受け付け、健康管理について指導や助言を行う。 また、骨の状態をチェックし、その結果に基づき生活改善の相談を行う骨健康度相談を実施する。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 保健師等による随時相談：194件 ○ 骨健康度相談の開催：全5回（相談者数：69名） ○ こころの健康相談について、自殺対策庁内連絡会を実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	相談内容によっては、他課と連携した支援が必要な場合がある。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	こころの健康相談においては、自殺対策庁内連絡会を実施しており、今後、他課と連携を図る体制づくりを行っていく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
CSF	参加者数	15人/年	263人/年	120人/年	◎

②	事業名：健康教室	事業課：健康推進課
施策の概要	市民の健康増進と健康管理意識の向上を図ることを目的として、生活習慣病予防等に関する健康教室を開催する。	
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 糖尿病予防教室：24人 ○ ヨガ体操教室：50人 ○ 肩こり腰痛予防教室：18人 ○ 骨粗しょう症予防教室：42人 ○ ピラティス教室：18人 ○ ウォーキング教室：20人 ○ 女性のための健康教室：20人 ※ 全教室（21教室）のうち2日は金曜日の夜間、1日は土曜の夜間に開催	
目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など）	健康教室参加者が固定化し、新規参加者が少ない。	
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	引き続き夜間及び土曜日開催の教室を開催する。 各検診や市公式LINE等のほか、令和8年度新規に開始する健康ポイント事業を活用して事業案内を行うなど、 新規及び若年層の参加者を増やすような工夫を検討していく。	

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
CSF	参加者数	211人/年	192人/年	660人/年	△

③	事業名：ゲートキーパーの養成	事業課：健康推進課
施策の概要	市の自殺防止対策の一環として、相手の心身の不調のサインに気づき、専門機関による相談等に繋ぐ役割を担うゲートキーパー養成講座を開催する。	
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 職員向けにゲートキーパー養成講座を実施：参加者34人（2回開催） ○ 2回のうち1回は「専門編」として、子どもの支援に係る部署の職員を対象に実施	
目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など）	職員の中には、過去にゲートキーパー研修を受講してから期間が経っている場合があり、職務の内容や係る対象も所属によって異なる。	
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	職員を対象として、今後も初級編のほか、支援の対象者を絞った内容や応用編を実施し、より実践的な研修となるよう工夫していく。	

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
CSF	ゲートキーパーの養成数	39人/年	34人/年	45人/年	△

④	事業名：総合型地域スポーツクラブの運営支援	事業課：スポーツ振興課			
施策の概要	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも、世代を超えて各自の興味・目的に応じて気軽にスポーツを楽しめるようなスポーツ社会を実現するため、総合型地域スポーツクラブの運営を支援する。				
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 運営支援のための補助金を交付 ○ 活動に対する人的支援を実施 ○ 認知度向上等を目的に、市ホームページなどに活動内容や活動状況等の広報活動を実施				
目標達成への課題 （目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など）	会員の半数以上が 60 歳以上であり、会員の高齢化が課題となっている。				
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	会員数の増加には、既存の他のスポーツ関連組織には参加していない市民の参加や、新たな団体の設立が必要と考えられるため、クラブの魅力について、引き続き積極的なPR活動を行うとともに、会員数の増加や新たなクラブの設立につながるよう、活動の充実等に向けた助言や財政支援等を行う。				

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	総合型地域スポーツクラブ会員数	290 人	170 人	390 人	△

⑤	事業名：スポーツ少年団の運営支援	事業課：スポーツ振興課			
施策の概要	スポーツ少年団の理念のもと、「子供たちの健全育成」、「一人でも多くの子供たちにスポーツの喜びの提供」を目的に、登録する単位団の増加や団員数の増加を目標として活動していく。				
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 事業運営等に関する支援				
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	新規登録の募集はしているものの、相談等もなく増加の見込みは立っていない。 少年団本部である体育協会と連携し、支援が必要な団体を効果的に支援できるよう、在り方を検討する必要がある。				
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	行政評価委員会による外部評価において、縮小・見直しの方向性が示されていることから、既存の登録団体への影響を考慮し、現行制度の代替支援の必要性等について検討している。				

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	スポーツ少年団登録団体数	1 団体	3 団体	6 団体	○

⑥	事業名：お互いさまサロンの設置・運営支援	事業課：高齢福祉課
施策の概要	介護予防や多世代間の交流等を目的としたお互いさまサロンづくりのため、設置・運営を行う団体に対し、財政的な支援を行っている。 また、各地域包括支援センターにおいては、地域住民に対してサロン設置・運営に係る技術的な支援を行っている。	
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 設置・運営を行う団体に対して、補助金を交付：43 団体 ○ お互いさまサロンの継続的な活動を支援するためポイント付与による交付金制度を実施：58 団体 ○ サロン立ち上げの支援や活動内容のアドバイスなど地域包括支援センターとお互いさまサロンの連携 ○ サロンの担い手の育成を図るため、「お互いさまリーダー養成講座」を年2回実施	
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	令和7年度末時点の実績として、お互いさまサロン設置数の目標値である70か所以上を維持している。 今後も引き続き、お互いさまサロンの設置数の維持・増加を進める。	
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	お互いさまサロン数の目標値である70か所を達成したため、今後は、お互いさまサロンの長期的な運営を支援するべく、地域包括支援センターと連携し、設置及び運営に関する助言並びに各補助金の周知に取り組む。 また、令和8年度から、当該事業が重層的支援体制整備事業に移行することを受けて、地域づくりを目的とする他の事業との連携を推進し、地域資源を幅広く把握した上で、お互いさまサロンが世代や属性を超えて住民同士が交流できる多様な場や居場所となるように支援していく。	

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
CSF	お互いさまサロンの設置数	10 か所	73 か所	70 か所	◎

⑦	事業名：シルバー人材センターの運営支援	事業課：福祉総務課
施策の概要	定年退職後の高齢者の多様なニーズに応じ、地域社会の日常生活に密着した臨時的、短期的かつ軽易な就業機会を確保・提供し、高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進による地域社会の活性化を図ることを目的として活動しているシルバー人材センター事業の円滑な実施を図るため、人件費の一部補助を行うもの。	
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ シルバー人材センターに補助金を交付	
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	毎年、一定数の入会者は確保できているものの、会員の高齢化に伴う、体調不良（病気）や高齢等を理由とする退会数が入会者数を上回っているのが現状である。また、高齢者雇用安定法に基づく定年延長や雇用延長がシルバー人材センターへの入会率減少に影響していると考えられる。 現在、就業会員の増加に向けて、ワークシェアリングやジョブローテーション等を実施している。今後は、就業会員の協力を得ながら、更なるPRを行っていく必要があると考えている。	
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	シルバー人材センターは健康で働く意欲のある高齢者に、臨時的・短期的な就業の機会を提供し就業を通じて、地域社会への貢献や生活の充実、心身の健康維持にもつながることで「人生100年時代」を支える重要な仕組みの一つである。減少傾向にある会員数については、就業会員の協力も得ながら、説明会の開催等、引き続き会員の確保に努めていくとともに、ワークシェアリングや技能向上を目的とした研修会の実施等により、安心・安全に就業できることをPRしていく。	

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
CSF	登録会員数	1,092 人	911 人	1,170 人	△

⑧	事業名：高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な実施	事業課：保険年金課、高齢福祉課、健康推進課
---	----------------------------	-----------------------

施策の概要	高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、後期高齢者の保健事業について、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施する。
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 糖尿病性腎症等重症化予防事業を実施 - 糖尿病性腎症等の高齢者に対する保健指導：保健指導参加者 20 名 - 健診結果に異常があるが、医療機関未受診の高齢者に対する受診勧奨：医療機関受診勧奨完了者 3 名 - 糖尿病性腎症等治療中断者に対する受診勧奨通知：医療機関受診勧奨完了者 1 名 - 令和6年度に保健指導を実施した者に対する継続支援：保健指導参加者 4 名 ○ 口腔機能向上・低栄養防止事業を実施 「歯つらつ教室」を 12 か所の通いの場で実施：参加者延べ 296 人 - 事業終了後のアンケートにて、参加者の 99%が今後もお口の体操や健康づくりに関することをやりたいと回答 ○ ハイリスクアプローチは、保健指導参加勧奨数 162 名に対し、参加者 20 名、参加率は 12.35%で令和6年度参加率（11.0%）と比べ増加し、参加者全員が途中辞退することなく完了 ○ ポピュレーションアプローチは、より多くの参加者を募るため、実施回数を見直し、お互いさまサロンのみならず、多様な通いの場で事業を実施できるよう改善し、計 12 箇所で開催 また、地域包括支援センターと連携し事業を実施することで、日頃特定の通いの場に参加していない高齢者へ事業を提供できるよう改善
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	参加率の向上のため勧奨方法の工夫が今後も必要である。医療機関への受診勧奨については、未治療者及び治療中断者への受診勧奨の実施率は 100%であったが、医療機関受診率は低値のため、介入後の受診率の向上に向け、架電勧奨から対面勧奨での保健指導実施に変更する。
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	国の事業方針に習い、実施量の拡大及び質の向上に努める。 ハイリスクアプローチにおいては、糖尿病のほか高血圧症も含め拡大実施し、医療機関への受診勧奨方法を架電勧奨から対面勧奨へ切替え、介入後の受診勧奨率の向上を目指していく。 ポピュレーションアプローチにおいては、より多くの高齢者のオーラルフレイルに対する関心を高め予防していくため、歯科医師会を始めとする関係機関の意見を踏まえ、協力を得ながら、広域的なアプローチや医療機関との連携の方法を検討する。高齢者の保健事業の主な目的は、地域で自立した生活が送れる高齢者を増やすためのフレイル予防と介護予防であるため、今後も効果的な保健事業を実施するとともに対象者が抱える多様な課題（栄養・身体活動・社会参加・疾病管理）の改善のために、三師会、介護・福祉等の地域資源と連携し実施に取り組んでいく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	事業の実施	未実施	実施	実施	◎

⑨	事業名：地域生活支援拠点等整備事業	事業課：障害福祉課
施策の概要	障害者の重度化・高齢化や親なき後を見据えた、居住支援のための機能を持つ場所や体制を整備し、障害者が地域で生活できるように支援する。	
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 基幹相談支援センターにおいて以下の取組を実施 ・ 相談支援 ・ 専門的人材の確保・養成 ・ 地域の体制づくり	
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	地域生活支援拠点等（障害者基幹相談支援センター）を設置することができたため、障害者・児への一貫した相談支援の対応や、権利擁護のために必要な援助等を引き続き実施していく。	
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	引き続き、関係機関のネットワークづくり及び地域づくりを推進していくことにより、障害者等が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるための地域支援体制の構築を図っていく。	

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	事業の実施	未実施	実施	実施	◎

⑩	事業名：相談支援機能強化事業	事業課：障害福祉課
施策の概要	障害者地域自立生活支援センターや精神障害者地域活動支援センターなどの相談支援機関への専門的職員（社会福祉士、精神保健福祉士など）を配置し、地域における相談支援事業を適正かつ円滑に実施する。 また、自立支援協議会の地域相談支援部会において定期的に会議を開催し、関係機関との連携を推進する。	
令和7年度の 主な取組内容・実績	○ 相談支援機関へ専門的職員を配置し、相談等の対応を実施 ・ 障害者地域自立生活支援センター：社会福祉士 3 人 ・ 精神障害者地域活動支援センター：精神保健福祉士 5 人（うち 3 人は社会福祉士の資格も保有） ・ 障害者基幹相談支援センター：社会福祉士 1 人、主任支援相談員・介護福祉士 1 人、精神保健福祉士・社会福祉士・介護福祉士 1 人 ○ 自立支援協議会の地域相談支援部会を 9 回開催 ・ 市内の相談支援機関等と情報共有を図った。	
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	地域における相談支援事業を適正かつ円滑に実施するためには、関係機関との連携が必要不可欠なため、今後も継続して自立支援協議会の地域相談支援部会等において情報共有を図っていく必要がある。	
課題を踏まえた 令和8年度以降の 主な取組等	障害者地域自立生活支援センター、精神障害者地域活動支援センター及び障害者基幹相談支援センターに配置されている専門的職員（社会福祉士、精神保健福祉士など）による相談支援事業を今後も継続して実施していく。	

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R7	R7(目標値)	評価
C S F	事業の実施	未実施	実施	実施	◎

参 考 資 料

第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業 進捗状況一覧

基本目標 具体的施策	指標			KPI・CSF								総合戦略 ページ	本編ページ
	事業名称	指標	種類	H30 (現況値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7 (目標値)		
基本目標1 まちの魅力を向上させ、新たなひとの流れをつくる		市外からの平日の滞在人口	数値目標	16,660人	13,259人	13,582人	13,504人	13,722人	—	—	17,493人	66	1
		市外からの休日の滞在人口		16,951人	12,690人	13,672人	14,084人	14,559人	—	—	17,799人	66	1
(1) 戦略的な情報発信		市ホームページアクセス数(トップページ)	KPI	276,230件/年	664,850件/年	779,985件/年	478,999件/年	305,940件/年	286,408件/年	231,766件/年	500,000件/年	68	1
	①	市ホームページ情報の充実		18ページ	30ページ	37ページ	26ページ	28ページ	19ページ	19ページ	30ページ	68	2
	②	「#MM教え隊」市以外からのSNS発信数	CSF	409回/年	346回/年	149回/年	56回/年	58件/年	0件/年	0件/年	600回/年	68	2
	③	SNS等による広報手段の充実		未実施	629回/年	2,832回/年	970回/年	654件/年	3,825件/年	841件/年	1,200件/年	68	2
		市公式フェイスブック「いいね!」件数		817件/年	941回/年	960回/年	1,013回/年	1,108件/年	1,133件/年	1,154件/年	1,200件/年	68	2
(2) 創業を希望している市民への支援		創業支援制度を利用した創業者数	KPI	2人/年	3人/年	5人/年	12人/年	8人/年	13人/年	14人/年	21人/年	69	3
	①	ウィメンズチャレンジプロジェクト	CSF	705人/年	84人/年	346人/年	752人/年	249人/年	52人/年	34人/年	750人/年	69	3
	②	空き店舗活性化事業への支援		0事業	0事業	0事業	0事業	0事業	0事業	1事業	2事業	69	4
(3) 産業の振興と雇用の促進		企業誘致制度を活用した企業誘致による新規就業人数	KPI	0人	4人	0人	0人	0人	0人	0人	10人	70	4
	①	(仮称)産業振興ビジョンの策定		未策定	アンケート調査	策定	推進	推進	推進	推進	策定	71	5
	②	企業誘致制度の拡充(新青梅街道沿道)	CSF	検討	検討	検討	検討	検討	検討	検討	検討終了	71	5
	③	工業地域における道路整備の推進		未実施	未実施	検討	検討	検討	検討	検討	検討	71	6
	④	地域ブランド認証事業		11品目	10品目	10品目	10品目	9品目	10品目	11品目	15品目	71	6
	⑤	村山大島結の振興		251人	92人	32人	413人	560人	513人	420人	300人	71	7
(4) 時代のニーズに対応する農業の創造		新規就農者数の累計	KPI	1人	3人	3人	4人	4人	4人	6人	6人	72	7
	①	認定農業者数	CSF	39経営体	40経営体	40経営体	38経営体	43経営体	44経営体	44経営体	45経営体	72	8
	②	観光農園の充実		10か所	10か所	10か所	10か所	10か所	10か所	10か所	11か所	72	8

基本目標 具体的施策	指標			KPI・CSF								総合戦略 ページ	本編ページ
	事業名称	指標	種類	H30 (現況値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7 (目標値)		
	③	体験型市民農園の開設	CSF	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	3か所	3か所	72	9
	④	援農ボランティア制度		13人	17人	14人	16人	19人	15人	13人	25人	73	9
(5) 個性豊かな観光施策の推進		村山温泉「かたくりの湯」の入湯者数 ※	KPI	158,958人/年	68,139人/年	90,621人/年	147,648人/年	0人/年	0人/年	0人/年	203,000人/年	74	10
	①	村山温泉「かたくりの湯」周辺を核とした交流エリアの形成		未設定	2ルート	2ルート	2ルート	2ルート	2ルート	2ルート	5ルート	75	10
	②	観光マップの作成		未実施	検討	検討	検討	検討	実施	実施	実施	75	11
	③	武蔵村山魅力マスターの活動		25人	25人	17人	17人	17人	18人	18人	35人	75	11
	④	ロケーションサービス	CSF	未実施	6件	11件	17件	11件	14件	30件	50件	75	12
	⑤	文化型の観光資源としての活用		2コース	7コース	7コース	7コース	7コース	7コース	7コース	4コース	75	12
	⑥	市民まつり(村山デエラまつり)の開催		70,000人/年	未開催	未開催	37,525人/年	未開催	43,196人/年	31,340人/年	80,000人/年	75	13
	⑦	観光納涼花火大会の開催支援		14,000人/年	未開催	未開催	未開催	9,150人/年	9,200人/年	10,134人/年	15,000人/年	75	13
(6) 利便性の高い公共交通網の形成		市内循環バス「MMシャトル」路線の1便当たりの平均輸送人員	KPI	5,61人/年	3,45人/年	3,97人/年	5,35人/年	5,49人/年	5,84人/年	6,14人/年	6,11人/年	76	14
	①	多摩都市モノレールの市内延伸の促進	CSF	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進	76	14
(7) にぎわいと活力のある魅力的なまち・まちづくり		都市核地区土地区画整理事業施行地区内の新青梅街道拡幅用地の確保	KPI	90%	97%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	77	15
	①	新青梅街道沿道の用途地域の変更及び地区計画の策定	CSF	1件	2件	4件	4件	4件	4件	4件	4件	77	15
	②	立川都市計画道路3・4・39号線整備事業		推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進	工事着工	77	16
基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望かなえる		合計特殊出生率	数値目標	1.55	1.37	1.21	1.24	1.01	1.03	1.03(R6実績)	1.60	81	16
		「武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちとしよう」人の割合		72.1%	調査未実施	調査未実施	調査未実施	64%	調査未実施	調査未実施	80%以上	81	16
(1) 結婚・妊娠・出産・子育てへの支援		認可保育所の入所待機児童数	KPI	39人	37人	18人	0人	0人	4人	0人	0人	83	17
	①	地域型保育事業	CSF	未実施	検討	準備中	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	84	17
	②	延長保育の充実		11か所	11か所	11か所	11か所	11か所	11か所	11か所	13か所	84	18

基本目標 具体的施策	指標			KPI・CSF								総合戦略 ページ	本編ページ
	事業名称	指標	種類	H30 (現況値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7 (目標値)		
	③ 休日保育事業	休日保育の実施保育所数 (日曜日・祝日の保育)	CSF	未実施	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	84	18
	④ 病児・病後児保育事業	延べ利用者数		234件/年	88件/年	311件/年	296件/年	419件/年	411件/年	432件/年	550件/年	84	19
	⑤ 子育て世代包括支援セン ター（ハグはく・むらや ま）	保健師等による全ての子 育て家庭に対する面談事 数		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	84	19
	⑥ 予防接種情報システムの 運用	登録者数		316件/年	330件/年	275件/年	301件/年	271件/年	245件/年	233件/年	350件/年	84	20
	⑦ 市民、事業所における ワーク・ライフ・バランス の推進	ワーク・ライフ・バランス 推進事業所の認定件数		0件	0件	7件	11件	14件	24件	31件	5件	84	20
	⑧ 市役所男性職員の育児休 業取得率の向上	取得率（5か年平均）		5.5%	20.5%	36.6%	41.5%	46.5%	53.8%	52.5%	15.0%	84	21
(2) 子育てしやすいまちづくり		「豊後村山市は安心して子ども を養育することが出来るまち だ」と思う、就学前児童の保護者 の割合	KPI	72.8%	調査未実施	調査未実施	調査未実施	71.4%	調査未実施	調査未実施	77.8%	85	21
	① 移動式赤ちゃんの駅の活 用	地域イベント等での活用	CSF	5件/年	1件/年	1件/年	2件/年	1件/年	3件/年	2件/年	10件/年	86	22
	② 児童館親子ひろば事業 （絵本読み聞かせ・みん なであそぼう）	絵本の読み聞かせ実施回 数及び参加者数		46回/年 1,037人/年	46回/年 1,078人/年	48回/年 1,002人/年	48回/年 1,123人/年	48回/年 945人/年	—	—	48回/年 1,200人/年	86	22
	③ 絵本読み聞かせ事業（図 書館のおはなしの会）	絵本の読み聞かせ実施回 数及び参加者数		114回/年 1,014人/年	48回/年 163人/年	25回/年 120人/年	99回/年 478人/年	101回/年 615人/年	84回/年 597人/年	84回/年 519人/年	120回/年 1,200人/年	86	23
	④ 放課後子供教室の充実	放課後子供教室実施校数		7校	7校	7校	9校	9校	9校	9校	9校	86	23
	⑤ 放課後子ども総合プラン 事業の推進	一休型の運営を行う学童 クラブ及び放課後子供教 室の設置数		4か所	5か所	5か所	6か所	6か所	6か所	6か所	5か所	86	24
	⑥ 子どもの未来応援プラン の策定及び推進	将来のゆめが「ある」と 回答した児童・生徒の割 合		小5：77.1% 中2：57.9%	調査未実施	調査未実施	調査未実施	小5：72.3% 中2：58.1%	調査未実施	調査未実施	小5：80.0% 中2：62.0%	86	24
(3) 子どもの知力・体力の向上		高校進学に際して第一志 望校へ合格する割合	KPI	83.2%	88.6%	92.2%	86.6%	91.2%	94.9%	95.2%	85.0%	87	25
	① 市学力調査	中学校1年生の国語の平 均正答率と全国平均正答 率との相対比率	CSF	91.6%	未実施	92.9%	調査未実施	86.7%	90.2%	85.6%	100.0%	87	25
	② 英語検定	中学校3年生の受験率		40.6%	39.2%	37.9%	31.3%	34.8%	33.9%	34.1%	60.0%	87	26
	③ 東京都統一体力テスト	小学校5年生のシャトル ランの平均値（回数）		男子49.2回 女子36.9回	調査一部未実施	男子38.7回 女子31.5回	男子42.4回 女子32.6回	男子42.3回 女子31.7回	男子44.9回 女子32.9回	男子47.7回 女子34.5回	男子51.1回 女子40.4回	87	26
		中学校2年生の持久走 男子 1.50km、女子1.00kmの 平均値（秒数）		男子395.6秒 女子295.6秒	調査一部未実施	男子395.7秒 女子295.6秒	男子421.3秒 女子315.7秒	男子433.0秒 女子322.0秒	男子412.4秒 女子309.9秒	男子422.4秒 女子319.8秒	男子386秒 女子286秒	87	26
(4) 教育環境の整備		不登校児童・生徒への教 育相談等支援率	KPI	75%	67.1%	48.9%	51.6%	60.0%	28.6%	45.0%	80%	88	27
	① 教育相談室事業・スパー ルソーシャルワーカー事 業	不登校出現率	CSF	小学校：0.79%/年 中学校：5.03%/年	小学校：0.92%/年 中学校：5.25%/年	小学校1.15%/年 中学校6.27%/年	小学校1.95%/年 中学校6.50%/年	小学校：2.56%/年 中学校：8.60%/年	小学校：2.42%/年 中学校：9.54%/年	小学校：2.71% 中学校：9.87%	小学校：0.54%/年 中学校：3.24%/年	88	27

基本目標 具体的施策	指標			KPI・CSF								総合戦略 ページ	本編ページ
	事業名称	指標	種類	H30 (現況値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7 (目標値)		
	② スクールカウンセラーの 配置	不登校出現率	CSF	小学校：0.79%/年 中学校：5.03%/年	小学校：0.92%/年 中学校：5.25%/年	小学校1.15%/年 中学校6.27%/年	小学校1.95%/年 中学校6.50%/年	小学校：2.56%/年 中学校：8.60%/年	小学校：2.42%/年 中学校：9.54%/年	小学校：2.71% 中学校：9.87%	小学校：0.54%/年 中学校：3.24%/年	88	28
基本目標3 誰もが安心して暮らし続けられる地域をつ くる		これからも本市に住み続 けたいと思う人の割合	数値 目標	31.1%	調査未実施	調査未実施	調査未実施	調査未実施	34.1%	調査未実施	36.1%	91	28
		20歳代の転出者割合		12.6%	13.8%	13.5%	13.3%	13.5%	12.9%	13.0%	11.6%以下	91	28
(1) 交通利便性や良い物環境の向上 に向けたまちづくり		公共交通の整備について の満足度	KPI	13.4%	調査未実施	調査未実施	調査未実施	調査未実施	11.3%	調査未実施	18.4%以上	92	29
	① 集合タクシー「むらタ ク」の運行	利用者数	CSF	4,028人/年	2,979人/年	3,774人/年	11,156人/年	12,657人/年	12,494人/年	12,894人/年	4,500人/年	92	29
	② まいどへ宅配事業	利用者数		2,148人/年	2,001人/年	1,951人/年	2,115人/年	1,457人/年	1,354人/年	1,110人/年	2,200人/年	92	30
(2) 安心して暮らせるまちづくり		停電対策用資器材の避難 所への備蓄	KPI	未実施	15か所	28か所	28か所	28か所	28か所	28か所	15か所	93	30
	① 防災士資格取得助成事業	防災士資格取得者数	CSF	9人	13人	14人	24人	26人	26人	30人	37人	94	31
	② 風水害に対する防災訓練	訓練の実施		未実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	94	31
(3) 健康でいきいきと暮らせる まちづくり		市民の1年間での運動・ スポーツ実施率	KPI	集計調査未実施	61.9%	調査未実施	調査未実施	調査未実施	調査未実施	60.8%	70%	95	32
	① 健康相談	参加者数	CSF	15人/年	209人/年	229人/年	250人/年	205人/年	239人/年	263人/年	120人/年	96	32
	② 健康教室	参加者数		211人/年	97人/年	108人/年	151人/年	156人/年	152人/年	192人/年	660人/年	96	33
	③ ゲートキーパーの養成	ゲートキーパーの養成数		39人/年	18人/年	16人/年	16人/年	42人/年	47人/年	34人/年	45人/年	96	33
	④ 総合型地域スポーツクラ ブの運営支援	総合型地域スポーツクラ ブ会員数		290人	143人	122人	171人	172人	199人	170人	390人	96	34
	⑤ スポーツ少年団の運営支 援	スポーツ少年団登録団体 数		1団体	2団体	2団体	4団体	4団体	3団体	3団体	6団体	96	34
	⑥ お互いさまサロンの設 置・運営支援	お互いさまサロンの設置 数		10か所	56か所	60か所	62か所	66か所	72か所	73か所	70か所	96	35
	⑦ シルバー人材センターの 運営支援	登録会員数		1,092人	1,063人	1,079人	1,025人	987人	970人	911人	1,170人	96	35
	⑧ 高齢者の保健事業と介護 予防事業の一体的実施	事業の実施		未実施	検討	検討	実施	実施	実施	実施	実施	96	36
	⑨ 地域生活支援拠点等整備 事業	事業の実施		未実施	検討	検討	検討	実施	実施	実施	実施	96	37
	⑩ 相談支援機能強化事業	事業の実施		未実施	検討	検討	実施	実施	実施	実施	実施	96	37